

### 3年健康教室～『医薬品と健康』～から

9月24日(火)総合的な学習の時間に、白梅ホールで本校学校薬剤師の前東憲子先生を講師に迎え、『医薬品と健康』についての講演をいただきました。講演の内容は、一般用医薬品と病院で処方される薬の違いや、薬は身体にとって異物であるため副作用というリスクが伴うこと、抗生物質はどんどん強くなってきていることからやみくもに利用してはならないこと、新薬の開発には10～12年の長い時間と数十億円の莫大な費用がかかっていること、ジェネリック薬品は安く購入できる主成分が同じ薬品であることなどについて、ご指導いただきました。また、薬には正しい飲み方があり、食道に張り付いて潰瘍を起こさないように、コップ1杯の水をぐくぐく飲むことで、しっかり薬を胃に落とし込むことや、食後30分服用とは、食後すぐに服用することであることなど、薬の飲み方についても教えていただきました。講演後には保健室にて、3学年の薬学部受験生徒が、薬剤師の仕事や薬学について質問を行い、受験準備にむけてご助言いただきました。

